

キッズあきんど事業

「子ども達に商売の楽しさを体験してもらうこと」、「将来の『あきんど』を育てること」を目的として、淡路市商工会青年部が主催し、毎年多くの子ども達が参加してくれている「キッズあきんど事業」。

夏事業として、7月に開催される淡路市夏まつり会場にて、市内の小学4年生を対象に、店頭にて販売体験を実施。

店舗を担当する青年部員からアドバイスを受けながら「いらっしゃいませ!」「美味しいですよ!」と力いっぱい呼び込みを行ったり、子ども達同士で連携しながら、お客様に商品を渡したりと大活躍。

秋事業としては、11月に淡路市商工会が主催する「淡路島ええもん・うまいもんフェア」会場内にて、市内の小学5、6年生を対象に、店舗運営を実施。子ども達が自ら会社を作り、事業計画から販売、決算書作りまで体験することで、経営の流れを知ってもらうことで、商売の楽しさ、難しさを感じてもらおう事業を実施します。



お子様たちからの声

※一部抜粋

- 最初は声を出すのが緊張したけど、だんだん声を出せるようになりました。とても楽しかったです。
- お父さんは、仕事をいつも頑張っているんだなあと思いました。もっともっと家のお手伝いをやれば楽になれると思いました。
- お客様を呼んだり、お金の計算をしたりするのは、初めてだったのでとても緊張しました。とてもいい経験ができたので、また参加したいです。

保護者様からの声

※一部抜粋

- お金に対する考え方が変わったように思います。自分のお小遣いの中で買うように計画を立てている様子です。
- 販売、接客はとても楽しかったようです。また機会があれば参加させたいです。
- いつも何気なく買っている物が、裏では、大変な仕事があつて作られていると知ったと言っていました。青年部の方々が、活気あふれて仕事されている様子が子どもの胸に残っていると思います。